

「情報公開文書」

課題名：神経内分泌前立腺癌に関するアウトカム研究

1. 研究の対象

2014年1月から2024年6月までの間に東北大学病院及び関連施設において神経内分泌前立腺癌と診断された方

2. 研究期間

2024年9月（研究実施許可日）～2029年8月

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

東北大学病院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日：2024年10月21日

提供開始予定日：2024年10月28日

4. 研究目的

今回の研究では、前立腺癌と診断され、なかでも神経内分泌癌という稀な病理を有する患者さんを対象として診断法や治療の有効性、予後などの情報を集積する事を行います。その結果をもとに今後の医療に生かすことを目的としています。

5. 研究方法

東北大学病院泌尿器科および関連施設で、神経内分泌前立腺癌と診断された患者さんの背景、病理所見、診断時の採血および画像所見、予後等を診療録から集積し、データの解析を行います。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、病理結果 等

試料：血液、尿、病理（生検や手術で得られた組織）

7. 外部への試料・情報の提供

試料・情報は個人が特定できないよう氏名等を削除し、郵送、電子的配信等により共同研究機関へ提供します。対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

8. 研究組織

代表機関：東北大学 泌尿器科学分野 佐藤友紀

共同研究機関：宮城県立がんセンター がん薬物療法研究部 田沼延公

9. 利益相反（企業等との利害関係）について

東北大学病院では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。

本研究は、運営費交付金を使用して行います。通常診療の範囲内にて実施して得られた検体を使用します。研究者等の本研究に係る利益相反はありません。なお、研究者等の利益相反は、所属機関が管理します。

外部との経済的な利益関係等によって、研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受けたうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。

この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

当院の研究責任者

東北労災病院 泌尿器科 副部長 櫻田 祐

住所：〒981-8563 宮城県仙台市青葉区台原 4-3-21 東北労災病院

連絡先：TEL 022-275-1111